

石心会グループ
社会医療法人財団 石心会
社会福祉法人 石心福祉会
医療法人社団 東京石心会
医療法人 鶴見会

海燕

うみつばめ No.70 2016年1月

発行人：石井嘆禱
編集人：辻田征男 発行：石心会本部
〒212-0013 川崎市幸区堀川町580番地
ソリッドスクエア東館4階
TEL 044-511-2266（代）FAX 044-540-1135
<http://www.sekishinkai.or.jp>

提言

2015年12月28日「さいわい鶴見病院」が開院いたしました。前身である富士電機病院は、富士電機株式会社の福利厚生施設として昭和19年に設立されて以来、70数年にわたり職員・家族のみならず鶴見区住民の地域医療を担ってまいりましたが、医療の高度化あるいは複雑化の中で企業立としての病院経営では限界があるということで、このたび石心会グループが病院を譲り受けすることになりました。

昭和の時代は、一つの病院の中で外来をやり、病状によっては入院治療を行い、さらに退院後はまた自分の病院の外来で診ていくという一病院完結型の医療が成り立っていました。しかし医療の高度化・複雑化の中では、複数の医療機関が連携して一人の患者さんの診療を行う必要があります。

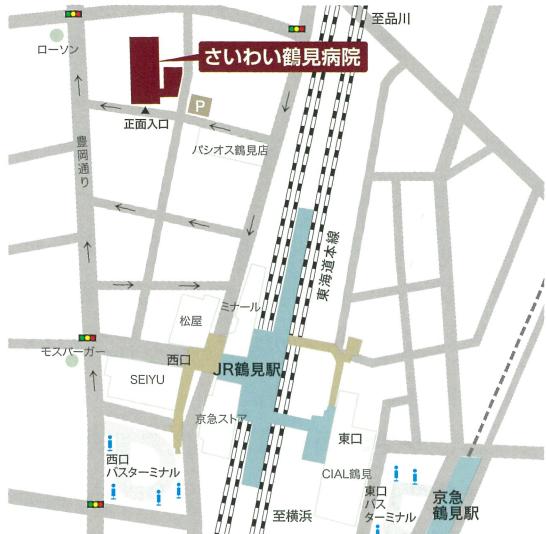
救急診療の取組みについて

「さいわい鶴見病院」の立地は、JR京浜東北線の鶴見駅から徒歩5分という交通の便の良い場所ですが、一方、川崎幸病院からは直線距離で約2.5kmという近さです。一つの病院の医療圏は半径5km以内と言われていますので、「さいわい鶴見病院」は完全に川崎幸病院の医療圏内にあることになります。川崎幸病院は、断らない救急医療の実践を含め、川崎市における高度医療・救急医療の重要な拠点病院の一つになっています。24時間365日、昼・夜を問わずに高い質の医療を行うためには設備のみならず、多くのマンパワーを要します。さいわい

さいわい鶴見病院のミッション

塚本喜昭

さいわい鶴見病院院長



鶴見病院で同じような救急医療を行うことは現実的に難しいので、川崎幸病院にお願いしなくてはならないと思います。

ただ、(1) 鶴見は横浜市なので救急隊は、まずは横浜市内での医療機関への救急搬入を検討すること、(2) 冬季など幸病院のERのholding bed が満杯になる事態が起こる可能性があること、などから将来的には小規模ながら、さいわい鶴見病院での救急診療を立ち上げる必要が出てくるかもしれません。

これまでになかった病院機能を備える

では、あらためて「さいわい鶴見病院」の役割とは何でしょうか？

まず外来業務ですが、旧富士電機病院では、外来診療で悪性疾患や心臓病、大動脈瘤、未破裂脳動脈瘤などを見つけた場合、残念ながら自らの病院では入院加療できないため、横浜市内の病院や都内のがん拠点病院に紹介していました。しかし今後は川崎幸病院が紹介の第一選

拠点になります。つまり川崎幸病院の5番目の外来施設となり、横浜市北東部患者さんを川崎幸病院に誘導する役割を担っていきます。これに関しては、川崎地区の石心会施設との共通ID（診察券）にする計画を進めています。

また健診業務も行っていますが、これまで一切営業を行っていない健診でした。前述のように交通の便の良い立地なので、それを生かして件数を伸ばしていきたいと考えています。

次に入院業務の目的です。川崎幸病院でERに搬送される患者さんをみていると、重症ばかりではなく、軽症、中等症の患者さんがかなりの割合を占めます。この傾向は、高齢化社会の進行に従って減ることはなく、逆に増えていく可能性すら考えられます。団塊の世代がすべて高齢者となる2025年問題は、2025年になつたら急に高齢者が増えるわけではなく、今までに始まっているわけです。

一方、厚生労働省は、高度急性期・救急医療機関には医療費抑制等のために、DPC導入とともに単価の高い医療と短い在院日数の短縮を求めています。これは断らない医療を実践している川崎幸病院にとっては、厳しい要求とも言えます。超高齢化社会においては、たとえば肺炎で入院された高齢の患者さんは、肺炎は軽快しても日常活動レベルが低下し入院が長期化するという例は日常茶飯事です。

これまで日本の病院は、日常活動レベルが回復して在宅復帰できるまで面倒をみてきましたが、上記の理由で、現在ではそれを川崎幸病院のような高度急性期・救急医療機関で完全に貰うのは難しい状況になってきています。

したがって、川崎幸病院のような高度急性期・急性期医療機関と、在宅復帰および外来診療までの橋渡しを受け持つ病院が必要になります。さらに、外来を行う医師が誰でも経験していることですが、重症度、医療・看護必要度が決して高くはないものの入院が必要な場合があり、さらにそのような患者さんの受け皿が必要です。

さいわい鶴見病院は、重症ではないけれど入院が必要な方、急性期を過ぎたけれどもすぐに退院は難しい方などを受け入れ、退院に向けた支援をしていきます。また、この10年間、在宅診療の重みが増している社会背景を考えレスパイト入院（在宅の医療を必要とする患者を家族の休息のため一時入院させること）にも対応し、在宅

診療を支援していく役目も行っていく予定です。

これまでになかったこのような病院機能を「さいわい鶴見病院」が担うことで、神奈川エリアの石心会グループが包括的な医療、あるいは重層的な医療を川崎市およびその周辺地域に提供できるようになること、これがさいわい鶴見病院のミッションだと考えます。がって、川崎幸病院のような高度急性期・急性期医療機関と、在宅復帰および外来診療までの橋渡しを受け持つ病院が必要になります。さらに、外来を行う医師が誰でも経験していることですが、重症度、医療・看護必要度がけつして高くはないものの、入院が必要な場合があり、さらにそのような患者さんの受け皿が必要です。

さいわい鶴見病院は、重症ではないけれど入院が必要な方、急性期を過ぎたけれどもすぐに退院は難しい方などを受け入れ、退院に向けた支援をしていきます。またこの10年間、在宅診療の重みが増している社会背景を考えレスパイト入院（在宅の医療を必要とする患者を家族の休息のため一時入院させること）にも対応し、在宅診療を支援していく役目も行う予定です。

これまでになかったこのような病院機能をさいわい鶴見病院が担うことで、神奈川エリアの石心会グループが包括的な医療、あるいは重層的な医療を川崎市およびその周辺地域に提供できるようになること、これが「さいわい鶴見病院」のミッションだと考えます。

さいわい鶴見病院の概要

開 設	平成27年（2015年）12月28日
所 在 地	神奈川県横浜市鶴見区豊岡町21-1
電 話	045-581-1417(代表) FAX 045-583-1498
院 長	塙本喜昭
看 護 部 長	市脇茂美
事 務 長	岡本正太
許可病床数	73床（一般病床）
施設基準	入院基本料10対1
診療科目	内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、一般外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、放射線科、人間ドック、健康診断
施 設	土地総面積2,542.87m ² ／建物総面積4,135.02m ² （うち病院3,746.19 m ² ）／SRC構造地上4階、地下1階建
設備機器	MRI(1.5T)、マルチスライスCT、マンモグラフィ、胃バリウム検査、一般レントゲン検査、超音波検査、CAVI(血圧脈波検査:血管年齢)、胃内視鏡検査、大腸内視鏡検査他



RSNA 第101回学術大会で報告

中孝文・川崎幸病院放射線科主任

RSNA(Radiological Society of North America)は、米国・イリノイ州シカゴ市で世界から放射線医学の臨床家、研究者、技術者ら5万人以上が毎年集まって開催される、世界最大級の放射線学会です。今号では、医師以外の学会活動として中孝文・川崎幸病院放射線科主任／川崎地区MRI技術指導者のRSNA2015での発表を紹介します。



北米放射線学会（RSNA 2015）は2015年11月29日（日）～12月4日（金）までの6日間にわたり、シカゴにて「Innovation is the Key to our Future」をテーマとして開催され、中孝文・川崎幸病院放射線科主任が参加・発表を行いました。

放射線医学の発展には、常に機器の技術革新が大きな影響を与えており、CTの多列化やMRIの高磁場化といった画像診断装置だけなく、人工知能やクラウド、モバイルデバイスなどのITの著しい進歩を遂げています。したがって、放射線医学に関わる人たちは、速い速度で進歩する技術に対応することになり、RSNAも年々大きなものに発展しています。

今回の学術大会では、scientific papersが17の専門領域で1,728題、education exhibitsが1,762題、scientific postersが921題アクセプトされ、メーカーなどの出展は659団体でした。

二つの報告がアクセプトされる

中主任がアクセプトされた

演題は「Diagnostic value of diffusion-weighted magnetic resonance imaging in abdominal oncology : latest topics and clinical applications」と「Clinical Utility of Non-Contrast-Enhanced Magnetic Resonance Angiography at 1.5T : Bases and Applications for clinical practice」の二題でした。

前者のテーマである拡散強調画像（diffusion weighted image, DWI）は、MRIのシーケンスの一種で、水分子の拡散運動を画像化したもので、CTで描出できない、超急性期または急性期の脳梗塞診断に非常に有用であるばかりでなく、最近では体幹臓器への応用が進み、救急医療で広く用いられています。

また、後者は非造影MRAに関する演題です。MRAとはmagnetic resonance angiography（磁気共鳴血管画像）の略で、造影剤を使わずに血管撮影することです。近年、造影剤の副作用が指摘されたり、患者さんに対する低侵襲性検査が期待されるため開発されている手

法です。

学会には積極的に参加

中主任は、川崎幸病院に勤務して18年。MRIを担当するようになって13年目を迎えていました。一昨年のRSNA 2014にも発表をするなど、内外の学会に積極的に参加しています。

「MRI開発の歴史は比較的新しいため、技術革新のスピードがきわめて速く、しかも大きく変化するので対応するのが大変です。しかし、歴史が浅いだけに私たちが開発に携わりやすい面もあるのです。メーカーに対して不具合を指摘したり、新たな手法の開発なども手がけることができ、ハード、ソフトの両面で成果が出せるので、やりがいがあります。学会の活動は、病院の外に出て、同じ仕事に携わる人と交流ができ、新たな課題が浮き彫りになります。今後も積極的に学会などの活動をしていきたいと考えています」と、中主任は熱意を示していました。

埼玉石心会病院の起工式

2017年8月に竣工、11月にオープンの予定



石井理事長、志田院長、小谷市長、後ろに辻田専務理事



12月11日、埼玉石心会病院の起工式が執り行われました。

式には、施主側として石井暁禧・

石心会理事長、辻田征男・同専務

理事／事務局長、志田晴彦・埼玉

石心会病院院長、持田和夫・埼玉

地区統括事務部長、水野たつ子・

埼玉石心会病院副院长／看護部長

など石心会グループ埼玉地区の主

要メンバーが出席しました。

来賓として、小谷野剛・狭山市

長、廣澤信作・狭山市医師会長、

地元の曾根一郎・菅原一丁目自

治会長、大野隆・菅原二丁目自

治会長、福山徹・旭町自治会長

が出席。

さらに銀行などの金融関係、設計

の山下設計、施工のフジタの関係



起工式式場入り口

者など、およそ60人が出席しました。

起工式の後、直会で石井理事長や来賓の皆さんなどが挨拶し、一同で新病院の着工を祝いました。

志田晴彦院長は、以下の通り新病院への思いを寄せてくれました。

「昨年12月11日夜來の雨の中、新病院の起工式が厳粛に執り行われました。神官の祓い清めに従い、

祝詞奏上、鎌入れ、鍬入れ、鋤入れなどの儀式に次いで、私も玉串を捧げる役割をいただきましたが、人生初の経験であり、その無作法さに神様が呆れてしまわれたのではないかと汗顏の至りでした。

閉式後来賓の方々、関係者一同で安全を祈願しながらの懇談を終

えて外に出ると、一軒して工事の門出を祝うかのような青空でした。

年が明け新病院の開院はすでに来年11月です。ただでさえ課題が

盛りだくさんの中で開院にむけての明確な展望を打ち出し、それに

合わせた物資、人材、システム整備を成功させなければなりません。

立派な建物、斬新なデザインに見合う中身を皆で作り上げ、現職員が全員そろって新しい病院に移れることが私の夢です。忙しい日常業務の中ですが、新病院に向けての課題や希望を皆で語り合っていただければ幸いです」

石井理事長

鍬入れを行う石井理事長

社会医療法人財団

起工 埼玉石心会病院移転

式場

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
芝田柴野	放射線治療科	2015.11.19～21	日本放射線腫瘍学会第28回学術大会	Respiratory variation of dose volume histogram evaluated by two-phase computer tomography in whole breast irradiation for breast cancer	前橋	ポスター
光岡明人	血管外科	2015.11.26～27	第77回日本臨床外科学会総会	単一術者による総合病院での日帰り下肢静脈瘤血管内焼灼術(ELVeS1470nm+2ringfiber)の治療成績について	福岡	一般・口演
光岡明人	血管外科	2015.10.29～31	第56回日本脈管学会総会	感染性外腸骨動脈瘤に対するEVAR術後の持続感染に対し大腿靜脈にてin situバイパス術を施行した1例	東京	ポスター
壇井祥史	脳神経外科	2015.11.19～21	第31回日本脳神経血管内治療学会学術総会	ADAPT導入後のM2閉塞に対する機械的血栓回収療法についての成績	岡山	ポスター

【地方学会】

朝倉 廉	内科（腎臓）	2015.10.2～3	第45回日本腎臓学会東部学術大会	Fabry病にIgA腎症を合併し、長期間酵素補充療法およびARB投与を継続している一例	東京	一般・口演
高橋 剛	内科（腎臓）	2015.10.2～3	第45回日本腎臓学会東部学術大会	内視鏡的胆道ドレナージ、乳頭括約筋切開術後に球形吸着炭の胆道内進入を認めた慢性腎不全例	東京	一般・口演
柴田真希	内科（腎臓）	2015.10.2～3	第45回日本腎臓学会東部学術大会	Light chain proximal tubulopathyによる進行性の腎障害を呈したMonoclonal gammopathy of undetermined significance(MGUS)の一例	東京	一般・口演
中川達生	放射線IVR科	2015.11.5	第9回川崎大動脈ステントグラフト研究会	EVAR術後遠隔期のステントグラフト破損による破裂性腹部大動脈瘤の症例	川崎	一般・口演
高橋英雄	循環器内科	2015.11.20	神奈川PTCA研究会	左主幹部にローターブレーターを施行した1例	横浜	一般・口演

【講演】

藤川拓也	心臓血管外科	2015.10.17～20	第68回日本胸部外科学会定期学術集会	逆行性及び順行性脳灌流併用による弓部大動脈人工血管置換術：待機手術613例の経験	神戸	講演(ディベートセッション)
山崎継敬	循環器内科	2015.10.19	カテーテル治療学講演会	心房細動合併PCI施行例の抗血栓療法	川崎	講演
伊藤賀敏	循環器内科	2015.10.30	第18回タワープライス研修医セミナー	知らないと恐ろしい！奥深き心臓救急	川崎	講演
山崎継敬	循環器内科	2015.11.7	条件つきMRI対応デバイス～知っておくべきリスクとの対策	当院におけるMRI対応デバイス患者の検査運用システムについて	横浜	パネリスト
西村潤一	放射線IVR科	2015.11.7	第1回神奈川EVAR研究会	エンドリードに対する血管内治療	横浜	講演

看護部

大内龍也	CCU	2015.10.23	第43回日本救急医学会総会・学術集会	ICLSプロバイダーへのフォローアップ体制の検討	東京	一般・口演
武良由香	感染管理	2015.10.17	神奈川県IVRカンファレンス	血管系IVRの感染対策アンケート結果報告—ICNからの提案	横浜	講演
武良由香	感染管理	2015.11.1	神奈川県感染対策セミナー2015	PICC・CVポートについて	横浜	講演
吉本瑞葉	HCU	2015.11.13～14	日本クリティカルパス学会学術集会	当院における胃癌症例に対するERASに基づいたパスの安全性と有効性の検討	東京	ポスター
片山亜由子	透析室	2015.11.28～29	第21回日本腹膜透析医学会	腹膜透析患者に関する在宅支援事業所との連携に向けた取り組み	宮城	ポスター

コメディカル部

長澤洋一	CE科	2015.10.16～18	第41回日本体外循環技術医学会大会	シンポジウム 急性大動脈解離／脳灌流法	神戸	シンポジウム
八馬拓也	CE科	2015.10.16～18	第41回日本体外循環技術医学会大会	全弓部大動脈置換術後における見当識障害症例の検討	神戸	一般・口演
山田剛士	CE科	2015.11.20	第31回日本脳神経血管内治療学会学術総会	輸液ポンプによる灌流量制御の検討	岡山	一般・口演
横田裕也	CE科	2015.10.16～18	第41回日本体外循環技術医学会大会	VAVDコントローラー故障時における代用機器の検討	神戸	ポスター
石田和史	放射線科	2015.10.7～9	第43回放射線技術学会秋季大会	triple rule out検査における新しい造影方法の検討	石川	一般・口演
仙田 学	放射線科	2015.11.19～21	第28回日本放射線腫瘍学会学術大会	Evaluation of respiratory movement amount in the upper abdomen by the 4D-CBCT using body indwelling as a motion index	前橋	ポスター
中 孝文	放射線科	2015.10.7～9	第43回放射線技術学会秋季大会	多機種間におけるcomputed DWIの基礎的検討	石川	ポスター
中 孝文	放射線科	2015.10.7～9	第43回放射線技術学会秋季大会	頭部におけるcomputed DWIの基礎的検討	石川	ポスター
川口征悟	放射線科	2015.10.7～9	第43回放射線技術学会秋季大会	頭部領域におけるTSE DWIの基礎的検討	石川	ポスター
林口 登	放射線科	2015.11.19～21	第31回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会	実物大脳血管モデルの作成に関する基礎的検討	岡山	ポスター

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
大塚洋子	リハビリテーション科	2015.10.30～31	第42回日本股関節学会学術集会	大腿骨近位部骨折の経口摂取マネジメント～術後呼吸器合併症ゼロを目指して～	大阪	一般・口演
金子奈央	リハビリテーション科	2015.10.22～24	第19回日本心不全学会学術集会	急性心不全患者の退院遅延の要因分析	大阪	ポスター
伊藤さおり	放射線治療品質管理室	2015.11.19～21	第28回日本放射線腫瘍学会学術大会	How to reduce the dose for small bowel in the rectovesical pouch of a prostate cancer patient undergoing boost therapy after small pelvic radiotherapy	前橋	ポスター

論文・教科書執筆等

診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
西村潤一	放射線IVR科	日本腹部救急医学会雑誌35(5):571-578, 2015	破裂性腹部大動脈瘤に対するEVAR—shock indexと転帰—	査読制度のある全国論文
太田 竜	外科	Cancer and Chemotherapy Vol.42 No.10	レゴラフェニブ投与にて腫瘍縮小を認め長期生存しているKRAS変異型大腸癌の1例	査読制度のある全国論文
山崎継敬	循環器内科	Therapeutic Research 2015 vol.36 no.10 p952-958	「房室結節リエントリー性頻拍に対するアブレーション後にinappropriate sinus tachycardiaを来たした1例」	査読制度のある全国論文
長南美穂	10階南病棟	隔月 病院安全教育 人材育成&研修教材	実践! TeamSTEPP研修 一院内研修の課程と工夫のポイント	雑誌

コメディカル部

長澤洋一	CE科	Clinical Engineering CE技術シリーズ「人工心肺」	体外循環システム、各施設の特徴「川崎幸病院」	書籍
------	-----	-------------------------------------	------------------------	----

◆川崎幸クリニック

学会発表

診療部

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
九島健二	内科	2015.11.5～7	第58回日本甲状腺学会学術集会	当クリニックのレボチロキシン補充療法について	福島	ポスター

◆川崎クリニック

学会発表

看護部

【全国学会】

由井淑子	看護部	2015.11.14～15	第18回日本腎不全看護学会学術集会・総会	川崎看護を語り合う会を立ち上げて	名古屋	ポスター
------	-----	---------------	----------------------	------------------	-----	------

◆さいわい鹿島田クリニック

学会発表

看護部

【全国学会】

水口章子	看護部	2015.11.14～15	第18回日本腎不全看護学会学術集会・総会	自己管理困難な重症下肢虚血(CLI)患者へのかかわり—トケアの介入を振り返って—	名古屋	一般・口演
------	-----	---------------	----------------------	--	-----	-------

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
山根正久	循環器内科	2015.10.29～31	CCT 2015	How to switch to antegrade system after retrograde wire crossing	神戸	一般・口演
畠 信哉	循環器内科	2015.10.29～31	CCT 2015	The Luminal gain of chronically shrunk coronary vessels after stenting at proximal severely stenotic lesion.	神戸	一般・口演
荻野健夫	外科	2015.11.26～28	第77回日本臨床外科学会	S状結腸癌による腸閉塞に合併した上行結腸の非閉塞性腸管虚血症の一例	福岡	ポスター
高梨秀一郎	外科	2015.11.26～28	第77回日本臨床外科学会	十二指腸癌およびS状結腸癌による重複癌の1切除例	福岡	ポスター
中村 靖	乳腺内分泌外科	2015.10.29～31	第53回日本癌治療学会	当院の化学療法施行患者におけるB型肝炎ウィルス再活性化対策の現状	京都	ポスター
山田哲也	整形外科	2015.11.26～27	第42回日本マイクロサーボリヤー学会	遊離血管柄つき内側大腿骨滑車骨軟骨移植で治療した舟状骨骨軟骨欠損の1例	さいたま	一般・口演
塩見大輔	心臓血管外科	2015.10.17～20	第68回日本胸部外科学会	急性肺塞栓症に対する外科的血栓摘除術の検討	神戸	一般・口演
鈴木雅子	病理科	2015.11.21～22	第54回日本臨床細胞学会秋季大会	ASC-Hの追跡結果と組織学的背景についての検討(ワークショッピング)	名古屋	一般・口演
鈴木康弘	心理相談科	2015.10.11～12	第39回日本死の臨床研究会年次大会	死にゆく人の対話について	岐阜	ポスター
鈴木康弘	心理相談科	2015.11.27～28	第28回日本総合病院精神医学会	総合病院における心理臨床のニーズ～心臓血管外科より紹介された症例を通して～	徳島	ポスター
磯部聰史	研修医	2015.11.26～28	第77回日本臨床外科学会	悪性腫瘍との鑑別に苦慮した回盲部膿瘍の1例	福岡	一般・口演
高橋和宏	研修医	2015.11.26～28	第77回日本臨床外科学会	被囊性腹膜硬化症によるイレウスに対し手術を施行した1例	福岡	一般・口演

【地方学会】

畠 信哉	循環器内科	2015.10.23～24	第47回関東甲信越CVIT	今さら聞けない!浅大腿動脈完全閉塞症例編	東京	一般・口演
児玉ひとみ	乳腺内分泌外科	2015.11.25	第5回埼玉県西部地区乳癌ケースカンファレンス	乳腺扁平上皮癌の2例 症例報告	川越	一般・口演
鈴木雅子	病理科	2015.10.3	第14回山梨・埼玉細胞診合同講習会	乳腺器質産生癌の1例(41歳女性) 症例検討	熊谷	一般・口演
鈴木雅子	病理科	2015.11.25	第5回埼玉県西部地区乳癌ケースカンファレンス	乳腺扁平上皮癌の2例 症例報告	川越	一般・口演

【講演】

竹野良平	精神科	2015.11.15	第3回埼玉県鍼灸師会学術講習会	東洋医学と糖質制限	さいたま市	講演
------	-----	------------	-----------------	-----------	-------	----

コメディカル部

佐藤真己	CE 室	2015.11.22～23	第10回医療の質・安全学会学術集会	薬剤管理の質の向上～薬剤管理の意識向上・基礎知識の習得を通して～	千葉	ポスター
飯塚真紀	検体検査室	2015.11.22～23	第10回医療の質・安全学会学術集会	検体検査室におけるインシデントレベルの検討～共通の認識を持つための取り組み～	千葉	口演
小出采歩	検体検査室	2015.10.17～18	第52回日臨技関甲信支部 医学検査学会	貯血式自己血採取の補助	長野	口演
荒川奈緒美	生理検査室	2015.10.30～31	第25回日本乳癌検診学会学術総会	閉経前女性におけるマンモグラフィ上の乳腺濃度と糖代謝及び腹部超音波検査上の脂肪肝との関連	茨城	一般・口演

看護部

荻原由江	緩和ケア病棟	2015.10.11～12	第39回日本死の臨床研究会年次大会	緩和ケア病棟で褥瘡治癒した一例	岐阜	ポスター
後藤久乃	救急外来	2015.10.16～17	第17回日本救急看護学会学術集会	救命救急外来におけるエンゼルケアへの取り組み	佐賀	ポスター
野崎千奈都	3階南病棟	2015.11.6～7	第46回日本看護学会ヘルスプロモーション	感染性胃腸炎に関する勉強会の効果～看護スタッフの知識・意識・行動変容に着目して～	富山	ポスター

事務部

平沼昌弘	患者サービス課	2015.11.25～26	第44回日本医療福祉設備学会	医療事務（職）としてのファシリティマネジメント	東京	依頼講演
------	---------	---------------	----------------	-------------------------	----	------

論文・教科書執筆等

診療部					
発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類	
山崎美保子	放射線科	骨軟部画像診断スタンダード（メディカル・サイエンス・インターナショナル）	ピロリン酸カルシウム結晶沈着症 塩基性リン酸カルシウム（BCP）結晶沈着症	書籍	

◆さやま総合クリニック

学会発表					
【全国学会】					
発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地
小野田教高	内科	2015.11.5～7	第58回日本甲状腺学会	甲状腺中毒症から発見された特発性全身性AAアミロイドーシスにて長期観察中の1例	福島

◆在宅部門川崎地区

学会発表					
【講演】					
宮本祥代	看護部	2015.11.28	川崎市在宅推進協議会 川崎市幸区市民公開講座	住み慣れた幸区で安心して最後まで暮らせるために	川崎市 シンポジスト
三橋由佳	看護部	2015.11.28	川崎市在宅推進協議会 川崎市幸区市民公開講座	住み慣れた幸区で安心して最後まで暮らせるために	川崎市 一般講演

◆新緑脳神経外科

学会発表					
【全国学会】					
井上光広	放射線治療品質管理室	2015.11.21～23	第31回日本診療放射線技師学術大会	Image-guided Robotic Radiosurgery System の照射時間管理について	京都 ポスター
大川浩平	検査・放射線科	2015.11.21～23	第31回日本診療放射線技師学術大会	異なるB1シムモードによる画像均一性の評価	京都 一般口述